第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成25年４月１日～平成26年3月31日）

所 属	局名	部名	室・課（出先は所属）名	所属のホームページ
	教育局	―	川崎高等学校	http://www.kawasaki-h.pen-kanagawa.ed.jp

Ⅰ　業務概要

単位制による全日制の課程（普通科）、単位制による定時制の課程（普通科）

Ⅱ　収支の状況

（単位：千円）

				第１・四半期	第２・四半期	第３・四半期	第４・四半期	出納整理期間	累計
収入	収入科目		年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料		1,298	237	137	132	150		656
	諸収入		675	116	205	215	141	34	712
									0
	収入計(A)		1,973	353	342	348	291	34	1,368
支出	事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
		事業費	35,349	4,757	11,207	10,250	6,165	2,970	35,349
		維持管理費	33,381	4,236	7,202	7,859	10,310	3,774	33,381
		計	68,730	8,994	18,409	18,109	16,475	6,744	68,730
	人件費	給与（下記手当を除く）		114,472	109,834	111,550	112,014		447,870
		通勤手当		6,464	886	6,565	1,120		15,035
		期末勤勉手当		64,471		68,741	-20		133,193
		給与計		185,407	110,720	186,856	113,114		596,097
		共済費相当額		25,842	25,827	25,887	26,020		103,575
		退職手当相当額		12,600	12,611	12,611	12,644		50,466
		計		223,850	149,157	225,354	151,777	0	750,138
	支出計(B)			232,843	167,566	243,462	168,252	6,744	818,868
	差額(A)-(B)　（注１）			△ 232,490	△ 167,224	△ 243,115	△ 167,961	△ 6,710	△ 817,500

（注１）差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	67	67	67	67
	再任用職員	7	7	7	7
	臨時的任用職員	7	7	7	8
	非常勤職員	66	67	66	63
	計（人）	147	148	147	145

Ⅳ　業務実施状況

１　生徒数の状況（平成25年４月１日現在）

全日制		１年	２年	３年	合計
学級数		8	8	8	24
生徒数	男	70	83	86	239
	女	160	152	162	474

定時制		１年	２年	３年	４年	合計
学級数		4	3	3	2	12
生徒数	男	27	30	27	14	98
	女	44	41	34	25	144

２　年間行事予定

・4月5日　始業式	・7月31日～9月6日　夏季休業	・9月21日、22日　文化祭
・10月11日　体育祭	・12月24日～1月7日　冬季休業	・1月28日　開校記念日
・3月5日　卒業式		

３　進路の状況

全日制		平成24年度	平成23年度	平成22年度
卒業者数		229	226	236
進学	４年制大学	99	88	87
	短期大学	14	26	23
	専門学校・各種学校	67	58	56
就職		12	8	13
その他・進学準備等		37	46	57

定時制		平成24年度	平成23年度	平成22年度
卒業者数		48	68	72
進学	４年制大学	5	7	6
	短期大学	0	5	2
	専門学校・各種学校	11	18	19
就職		2	6	8
その他・進学準備等		30	32	37

Ⅴ　業務運営に関する評価

1　平成25年度の学校目標

1　多様化している生徒の進路希望や幅広い学習ニーズに対応する魅力的な教育課程の編成を図り、確かな学力のための取り組みを確立する。
2　きめ細やかで粘り強い生徒指導、教育相談の組織的な支援体制の構築に努め、より一層の行事、部活動の活性化を教化することにより、豊かな心と健やかな体を育む。
3　各教科における言語活動の充実という視点を持った授業研究や、指導法・知識の共有化を図ることにより、組織的、計画的な授業改善の取り組みを推進する。
4　生徒一人ひとりの個性に対応した体系的なキャリア教育を伸張し、個が生かされる特色ある教育の深化・充実を図る。
5　地域住民の学習センターとして、開かれた学校づくりの拡大を図ると共に、地域貢献活動や環境教育等の取り組みを通じて、地域社会との相互交流による協働と信頼に根ざした教育活動を推進する。
6　（1）全定一体型フレキシブルスクールの学校運営をより洗練されたものとし、学校評価システム等を活用した評価・改善の充実により、新たな特色づくりの開発を推進する。
　（2）学校全体が一丸となり、事故未然防止に取り組むことにより、安全・快適な教育環境を整備すると共に、日常的なＯＪＴの充実による教職員の人材育成と、不祥事防止の徹底を図る。

2　平成25年度の学校目標の評価

1　今年度は、確かな学力を育成することを目的に新たな学校設定科目として「国語基礎」、「一般教養Ａ」、「一般教養Ｂ」、「生物研究」、「化学研究」の５科目を設定した。新・旧学習指導要領の科目が混在する中で、年２回の「履修指導研修会」を通じて、全職員が共通理解を持って正しく、わかりやすく履修指導ができるよう、心がけた。
2　学校相談体制が年次ごとの対応となり、ケース会議開催が、年次の教育相談係へと移行したことにより、これまで以上にスピーディできめ細かな対応ができるようになった。新たに生徒相談室を開設し、全校生徒に対し「悩み相談アンケート」を実施し、高校生活の悩みごと、困りごとの相談に、日頃より積極的にあたれるように体制を整えた。部活動の活躍については今年度も引き続き顕著な活動がみられた。陸上部・バドミントン部においては全国定通大会に出場し、入賞。ボランティア部も毎年表彰をされているが、今年度は日頃の活動をたたえられ、社会貢献青少年表彰（内閣府特命担当大臣表彰）を受賞した。また、写真部は「高校写真連盟写真コンテスト」において特選。関東地区高校写真展にも出展した。茶道部は裏千家淡交会主催「学校茶道エッセイ」において第一席と入賞をした。
3　今年度は言語活動の充実をテーマとした授業研究を計画し、「国語総合」「現代文②」の科目で実施した。職員向け授業研究修会として外部講師を迎え、「アクティブラーニング」の手法を活かした授業づくりくりについて研修し、グループ活動を中心とした授業づくりの参考となった。
4　進路指導については、「キャリアガイダンス年間計画」に則り、それぞれ目的に応じた生徒向けガイダンスを実施することができた。各教科に働きかけて、年３回の休業期間に目的別補習講座を、計25講座開講した。本校は「環境教育推進校」として様々な取り組みを行っているが、今年度は昨年以上に環境委員会の活動が活発となり、「緑のカーテン」、「ビオトープの整備」、「花壇の設営」「ミツバチの飼育」など積極的な活動がみられた。
5　地区交流としては今年は近隣中学校との部活動連携が活発に行われた。文化部では吹奏楽部が田島中学校や渡田中学校と合同練習を行い、ジョイントコンサートや「ミューザ川崎吹奏楽祭」での合同演奏を行った。また、ボランティア部は、渡田地区の「あおぞら共生会」と協力して、カルチャースクール等の地域ボランティアを精力的に行っている。運動部ではサッカー部が稲田中学校と、陸上部が渡田中学校、川崎中学校などと合同練習を行った。
6（1）　ファイリングサーバー、ファイリングロッカーシステムの充実により、業務の引き継ぎはスムーズに行われるようになってきている。
　（2）　ＯＪＴについては、ペアワーク、チームワークを駆使して効果的に行われている。ベテラン教員の知見と若手教員のスキルを融合し、職場の活性化をもたらす努力を日々行っている。不祥事防止については、日頃より職員相互の声かけ、チェック、意識づけを怠らず、不祥事ゼロを徹底していく。

連絡先（電話番号）	044-344-5821